

審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	令和2年度 第2回(9月)柴崎学習館運営協議会会議録概要
開催日時	令和2年9月30日(水曜日) 18時～20時
開催場所	柴崎学習館 ホール
次第	<p>1. 確認・報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の会議事録の確認 ・ 各委員からの近況報告など ・ 事務局からの報告 <p>2. 議題</p> <p>(1)第5期事業報告について</p> <p>(2)「第43回すわっ祭」実行委員会について</p> <p>(3)地域活性化講座について</p> <p>(4)その他</p>
配布資料	<p>1. 議事録</p> <p>2. 『わたしの戦争体験記2020』</p> <p>3. ちらし</p>
出席者	<p>[委員] 末松、服部、檜崎、田村、峯岸、奥田、池谷</p> <p>[欠席] 鈴木、堀内</p> <p>[事務局] 高野、加藤（書記）</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 末松会長から挨拶 ●司会：末松さん ●服部さん：オーケストラ、練習開始した。自粛していた管楽器も再開。木管楽器を先に、ホルン、金管は難しい。 11月29日にコンサートを予定。短い音楽モーツァルトなど。 ●峯岸さん：文化協会関連。11月展示、2月の公演も中止。出展者側の心配する声が多い。富士見町は展示中止。 ●池谷さん：ZOOMを使った会議。サロンも半数。飛沫感染を付保具工夫をしている。子ども食堂中止。レシピと食品を渡す。配慮しながら、活動を再開。 ●奥田さん：日本語教室はオンラインや予約制で人数制限して活動。 ●檜崎さん：『わたしの戦争体験記』に注釈の監修をしました。前作は図書館で借りられます。 戦後75年。3回連続講座「立川市民の戦争」を10月から予定。作年は小学校で2.3回講演。これからも子どもに向けてやればよい。 <p>事務局：6月よりコロナに関し、スロースタートで活動。注意種目コーラス、調理など。定数半分、休憩時間、換気。未就学児サークル活動</p>

について、保育室が使えなかったが10月から再開。定数半分、おもちゃなし、捕食程度をお願い。調理講座は自粛中。カラオケ部分的に開放。

立川からもコロナ患者出ています。コロナ差別ないように。

「学習館で出た」という噂が出ました。事実無根。

●田村さん：健康フェア、運動会等ほぼ中止。立川は感染者数が少ないので、もう少し緩和されてもいいかも。

末松さん：市民からどんな声が上がっているのか聞かせて欲しい。

各自治体により厳しさが違うようだ。23区と市が同じ扱いなのも？

高齢者は気遣いながら、健康の為に行動することも大切。

檜崎さん：昼間出てこない人のためにリモートで活動を促すように地運協として要望したらどうか。

高野：wi-fi 設置については、既に動きあり。

ソフトバンクが地下で使えない問題→少し動き出した

2. 議題

(1) 第5期事業報告について

- ・スタイルについて→このままがよい
- ・次回までに檜崎さんに学習館経由で送る。

(2) 第43回すわっ祭実行委員会について

事務局：前回の中止については、正しい判断であるという団体の声が多い。次期準備はどうするか？

田村さん：年内は人を集められない。出演する団体も練習できていない。

服部さん：来年度5月にやるとしても、従来通りできないだろう。距離があり過ぎて会議にならない。

皆さん：だからと言ってやめたくはない。

ご高齢者対策→オンライン

これを機にIT利用を促す

インフラの問題

元々の学習館の意義→生きがい を無くさないように何か工夫を話す場があるだけでも違うのでは

東日本大震災と違って、ゴールが見えにくい

一か所に集めることが難しいのであれば、別の部屋で

全員がITを使うのはハードルが高いが、何か工夫を

ZOOMを高齢者に教える

録画して上映する

地域テレビやラジオは使えないか→FM立川

普段出来ない様なことにもトライしてみないと守りになってしまう

・実行委員会自体は先に延ばし、何回か運営委員で会議を行い集約。
こちらから提案する形で実行委員会を開催する。

皆さん：クラウドで情報共有

DVD貸し出し

リアルタイムか否か

発表の場がなくなるのは寂しい

市民カラオケは行う 完全予約制

(3) 地域活性化講座について

Q：(以前あがっていた)防災講座は？→A：コロナのせいで、防災課は、今すぐにはできないと聞いている。

Q：いつまでとかあるか→コロナの事もあるので、特に急いでやらなければならないものではない。課題であることは認識している。

末松さん：学校など今年度イベントをやっている所の話を聞くようなことができれば。今年度イベントをやっている所は相当苦勞してやっているはずなので。そこを知りたい。

すわっ祭以外に何かイベント。なぜ学習館に居場所を求めているのか。コロナ禍で考える、学習館の在り方とは？

学習館を越えて。

東京国際映画祭がやっている 今、映画をみるとはどういうことなのか みたいな話し合い。若年層との接点。取り込み。

事務局：コロナで活動自粛しているサークルがあるため、キャンセルよって部屋が空いている為、別学習館で活動している団体が利用している。今後、取り合いになる可能性。

末松さん：今までできていたことが出来なくなっているが、出来る事から。

新しいことに目を向けてみるのも。

Q：JAZZ講座は？→なし。この先は決まっていない。

奥田さん：地域活性化講座案として→子どもたちがコロナで学校に行けなくなって、学校って大事だと思うように、学習館が大事な場所であったと考えるような講座を行ったら。

・学習館川柳でも募集するか。

・鈴木さん、体調でコロナを心配されて参加されないが、お元気か？

末松さん：話し合う事の大切さ、一か月後ぐらいに次の会議を行いましょう。

	※10月28日水曜日 18時～
担当	教育委員会 生涯学習推進センター 柴崎学習館 電話 042-524-2773